

土砂災害対策

勾配の急な山やがけの多いわが国は、がけ崩れ、土石流、地すべりなどの土砂災害が発生しやすい地形的特徴があります。特に危険なのは山沿いの地域ですが、最近では都市近郊の丘陵地を開発した新興住宅地などでも土砂災害が増える傾向にあります。造成地や扇状地、また以前は河川敷だったところに住む方も、油断しないようにしてください。

がけ崩れ

地面にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで被害が大きくなる。

(まえぶれ)

がけからの水が濁る。がけに亀裂が入ったり、小石が落ちてくる。がけから音がする。異様なにおいがする。

土石流

谷や斜面にたまった土・石・砂などが、大雨による水とともに一気に流れ出す現象。スピードが速く、破壊力も大きいため、広範囲に大きな被害が出る。

(まえぶれ)

山鳴りがする。雨が降り続けているのに川の水位が下がる。川が濁ったり、流木が下がる。

地すべり

比較的ゆるやかな斜面で地中の粘土層などがゆっくりと動きだす現象。一度に広範囲で発生するので、住宅や道路、鉄道などに大きな被害がでる。

(まえぶれ)

地面にひび割れができる。井戸や沢の水が濁る。がけや斜面から水が吹き出す。